



女子力全開!

学習館女子が企画を頑張りました。
みなさん、楽しみにお越しください。

6月25日(土) まちなかエコ市場

10:00~15:00

場所:銀天エコプラザ

中央街区公園

野外ステージ



☆あなたがモデルのリユースファッションショー
~眠っている服をよみがえらせよう~

♪ステージは力強い宇部太鼓で始まります。
♪グリーンエコシンガーズと一緒に「熊本地震復興
応援ソング」を歌いましょう。
♪オカリナ演奏 音色は癒しそのものです。
♪ロックバンドの演奏。
にぎやかに南京玉すだれも登場します。

☆新鮮なお野菜や苗、手芸作品、銀天街の皆さんの
出店もあります。

☆『ハーブティーカフェ』もありますよ~

「株にぎわい宇部」設立とまちなか環境学習館の連携について 知恵を出し合い、力を合わせて、まちなかを活性化しよう!



平成28年4月27日に、宇部市版まちづくり会社「株にぎわい宇部」が設立され、記者発表がありました。宇部市と宇部商工会議所からの出資金と補助金や事業費により、宇部市中心市街地の活性化のための諸事業を展開する予定です。

具体的には銀天街の一角に株にぎわい宇部の事務所を開設し、以下の事について推進する予定です。

- ① 空き店舗への積極的な事業者の誘致
 - ② にぎわい創出事業(ソフト事業)の企画運営
 - ③ リノベーションスクールの開催、など
- ②のにぎわい創出事業(ソフト事業)では宇部市の委託事業として、銀天街付近の空き地にコンテナハウスを設置して、周囲に芝生広場を整備し、多世代の交流スペースを創出することを目指しています。また、これらの施設を中核として、宇部市中心市街地のにぎわいを取り戻すために多彩なイベントを開催する予定です。うべ環境コミュニティー・宇部市まちなか環境学習館もこれらのイベントを共同開催するとともに、これまで実施してきた「まちなかエコ市場」などのイベントを共催して、これまで以上に盛り上げていきたいと考えています。

③リノベーションスクールの開催は、長期間使われていなかった建物をカフェにリノベートするとか、空いているフロアーを企業家が集まるコワーキングスペース

にするなど、具体策の検討を重ねる上で、効果があると考えられています。

リノベーションの事例



20年間使われなかった民家をカフェに



10年間空いていたフロアーを企業家が集まるコワーキングスペースへ

株にぎわい宇部では、現在、職員(タウンマネージャー)の公募を行っており、6月末日の応募期間終了を待って採用人事を進め、その後、具体的な活動が開始される予定です。

株にぎわい宇部の活動に触発されて、まちなか環境学習館も一層の活動展開が可能になるように頑張りたいと考えています。(薄井)

まちなかおそうじ隊は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や塩田川、中川などを掃除しています。メンバーは、その日集まってくださった方々。みんなで「まち」をきれいにしませんか。掃除後は茶話会のひと時を。

まちなか銀天おそうじ隊募集!

6月26日(日)15:00~

まちなか環境学習館前に集合です。
(道具は用意しています)

おそうじ隊参加者には
環境地域通貨エコハ2枚進呈!



宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

Facebook や Twitter も
こちらからアクセスでき
ます。



うべ交通まちづくり市民会議(うべこまち)は、2010年に発足し、会員30名余りとともに、人にやさしいうべの交通環境を目指して活動しています。そのため、自転車や徒歩で移動しやすくなるような道路の改善を市や警察に要望し、同時に市民に対して交通ルールの啓発・交通事故防止を呼び掛けています。

自転車まちづくりシンポジウムや自転車レーン整備に向けた市民ワークショップを開催し、その成果として、2015年4月には、市道神原町草江線に自転車レーン(法定外)が整備されました。



毎年3月には市内の中学3年生800名余りに、「自転車を楽しく安全に利用するためのハンドブック」を贈呈しています。自転車だけでなく、もっと魅力的な公共交通(電車・バス)への提案を考えていきたいと思ひます。

活動に興味のある方は、宇部市民活動センター「青空」にご連絡ください。

事務局
宇部市新天町1丁目2-28
まちづくりプラザ2F 宇部市民活動センター内
TEL: 0836-36-9555 FAX: 0836-39-2272
mail: ubekomachi5@yahoo.co.jp
<http://www.ubekomachi.net>



2014年自転車走行帯安全マップづくりw sより



2015年チャレンジデーに参加して自転車レーンを走行

～アーミッシュの謎～

現代社会における環境に優しい生活の選択

アーミッシュをご存じですか。アーミッシュはキリスト教の一宗派の人達ですが、ヨーロッパで迫害されてアメリカに移住して、開拓時代の服装で過ごすだけでなく、電気は電力会社からの供給を拒否し、電話やテレビも使わない。車も禁止で、もっぱら移動は馬車と自転車に頼っています。ところが驚いたことに、20世紀の百年間にアメリカ東部のランカスター地方のアーミッシュは人口が5000人から16000人に増加しています。

彼らの成功の要因は①生命の再生産、②文化的抵抗、③近代社会への妥協にあるとみられています。

①**生命の再生産** 宗教的信条から、彼らは子ども達を沢山産みます。兄弟姉妹が5人～8人程度いるのは通常の事だそうです。日本の第二次世界大戦の前後もこのような状態の家庭が多かったと思ひます。

子ども達が成長すると、自分の意思でアーミッシュ社会から外部の世界へ出て行く人達もかなりの数になりますが、それらを差し引いても人口増加が著しい結果になっています。

②**文化的抵抗** 最初に述べたように、旧来の服装だけでなく、電気や電話を使わない、テレビも車も拒否していることから、アメリカの社会から切り離された状況にあります。アーミッシュの社会では、教育もアメリカの義務教育の期間は自分たちで行い、彼らの宗教の教義に従った質素で寛容な生活を守っています。自転車と馬車だけの移動手段なので、外部との交流は強く制限されます。

③**近代社会への妥協** 新しく開発された農機具はエンジンを取り外して馬やラバに引かせるものの、器具自体は否定していません。



家庭内の電気器具も自宅のバッテリーから供給する直流電源からインバータを介して使えるようになってきた。これらの例のように現在の技術革新を全く拒絶するものではなく、彼らの文化が持続するように気をつけて判断をしています。

アーミッシュの例に見られるように、我々の社会でも地域社会の隣人との密度が高い結びつきと、若者が地域から出ていかない状況をどのようにして作るかと言うことが大切であると思ひます。その根底には、穏やかで質素・無欲な生活を選択して、大量消費と大量の廃棄物の排出に鈍感になっている生活を改めることが大切であると思ひます。(HU)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)